

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	公共交通利用促進事業（交通政策担当）			事業番号	017-014
担当部署名	建築都市	局	交通	部	交通政策担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築		
			有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(A)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3		
			有	取組	地域住民のつながり強化、住民自治の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—			

2	関連計画				
3	事業開始年度	平成 26 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市おでかけ応援利用者証条例			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	65歳以上の市民。233,745人 (令和4年2月末現在)	対象数	233,745	単位 人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	・全国的に公共交通利用者数が減少する中、公共交通の利用促進及び維持・活性化と、高齢者の社会参加の促進を図る。おでかけ応援制度を I C カードで運用することにより、利用資格及び利用状況の適正管理を図る。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> 「おでかけ応援カード」(I C カード) を使うことにより阪堺電車を 1 乗車 1 0 0 円で利用できるようにする。 申請書兼納付書を対象者に送付し、納付者に対してカードを作成し送付する。 毎日の住民基本台帳との照合により、利用資格の適正管理を行う。 カード発行事務に係る窓口業務及び電話対応を行う。 I C カード発行管理システムの運用、改良及び保守を行う。 			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	阪堺電気軌道株式会社・カード発行業者			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	令和2年度	令和3年度	目標	点検年度
				令和4年度	令和7年度		
				目標値	69	70	71
	おでかけ応援カードの保有率 (ICカード移行後)	%	実績値	70	70		
達成率				101%	100%		
当該指標を選定した理由				制度目的 (公共交通の利用促進及び維持・活性化、高齢者の社会参加の促進) の実現につながるため			
	目標値の設定根拠・算出方法	(前年度3月末時点のおでかけ応援カードの保有者数) ÷ (前年度3月末時点の65歳以上の人口)					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	令和2年度	令和3年度	目標	
				令和4年度			
				目標値	9,837	9,521	9,427
	新規対象者に対する周知件数	件	実績値	9,965	9,437		
達成率				101%	99%		
当該指標を選定した理由				制度の目的及びカード発行方法を周知し、広く制度を活用いただくことで、事業目的の実現につなげるため			
	目標値の設定根拠・算出方法	新規対象者に対して周知を行った件数 (新規65歳 + 65歳以上の転入者推計値)					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	公共交通利用促進事業（交通政策担当）	事業番号	017-014
-------	--------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）			
項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	23,349	79,102	93,550	86,245	93,449
13 財源内訳	国支出金			7,500	0
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	11,413	8,874	12,600	7,596
一般財源	11,936	54,545	80,950	71,149	80,849
14 人件費 (b)	10,100	12,340	13,560	13,560	12,140
15 年間経費(c)=(a)+(b)	33,449	91,442	107,110	99,805	105,589

事業費の内訳		（単位：千円）							
項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								事業費	うち一般財源
16 事業費内訳	阪堺電車おでかけ応援事業等負担金	R3 決算	60,545	60,545	印刷製本費	R3 決算	451	451	
		R4 予算	71,000	71,000		R4 予算	459	459	
	おでかけ応援ICカード発行等委託料	R3 決算	11,686	6,182	その他使用料及び賃借料（IT経費）	R3 決算	0	0	
		R4 予算	13,309	4,180		R4 予算	50	50	
	通信運搬費	R3 決算	3,768	1,676	公共交通路線維持事業【コロナ対応】	R3 決算	7,500	0	
		R4 予算	5,891	2,420		R4 予算	0	0	
	おでかけ応援ICカード申請書印刷発送準備等委託料	R3 決算	1,305	1,305		R3 決算			
		R4 予算	1,750	1,750		R4 予算			
	おでかけ応援ICカード管理システム運用保守等委託料（IT経費）	R3 決算	990	990		R3 決算			
		R4 予算	990	990		R4 予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分	単位	令和2年度	令和3年度
17	①	おでかけ応援カード保有者数	人	163,956	164,976
	②	上記①にかかる年間経費	千円	31,447	31,760
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	192	193
備考（算出についての説明等）					

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	<ul style="list-style-type: none"> ・おでかけIC化により適正な事務事業継続が可能となっており、カード管理システムにより事務コスト低減化を図っている。 ・カードを交通事業者間で共通化することにより、事務管理が必要最小限に抑えられるなど、効率的な事業運営を行っている。 ・カード発行管理システムの改良等による事務の効率化を進める。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス流行の影響によりおでかけ応援制度の年間合計利用回数（阪堺電車）がコロナ前と比べて減少したものの、国の臨時交付金を活用し、車両の維持に必要な経費を補助する「公共交通路線維持事業」を実施することで公共交通を支えた。 ・新たな制度対象者（65歳になる堺市民、転入者）全員に制度案内を継続的に送付し、制度の認知度の向上に努め、カード保有率を増加させた。 ・上記2項目より、事業目的となっている公共交通の利用促進及び維持・活性化と高齢者の社会参加の促進に寄与したと考えている。